

上信越自動車道熊坂トンネル工事
不適切施工についてのお詫び

このたび弊社と北野建設株式会社との共同企業体が現在施工しております、東日本高速道路株式会社様ご発注に係る「上信越自動車道熊坂トンネル工事」において発生いたしました、覆工コンクリートの厚さ不足や空隙等をはじめとする不適切な工事により、地元の長野県をはじめとする多くの皆様に、大変なご心配をおかけいたしましたことを心からお詫び申し上げます。

原因につきましては、共同企業体の元現場代理人による裁量判断ミスから起きた不適切な指示によるものですが、弊社が構築しております内部通報制度が今回は適切に機能しなかったことも大きな要因と考えております。また事実関係の確認に手間取り、今日に至るまで情報開示が迅速に実行できなかったことも深く反省するところであります。

なお、本件につき弊社は、東日本高速道路株式会社様から、去る平成20年4月11日より平成21年1月10日まで9ヶ月の競争参加資格停止措置を受けているところでございます。発注者様ならびに関係各位に多大なご迷惑をおかけいたしましたことを、重ねて深くお詫び申し上げます。

現在、発注者様よりご承認いただきました「修補計画」に則り工事を再開しておりますが、発注者様の監理、ご指導の下、共同企業体の総力を結集して安全で安心なトンネルを完成させる決意でございます。

特に共同企業体代表者である弊社は、責任を重く受け止め、再発防止の取組みとして

- 1 企業ヘルプライン制度の周知徹底と一層の活用
- 2 本年7月から各支社に工事検査専門部署を設置し、工事部門の検査体制の強化・充実
- 3 協力会社とのパートナーシップのより一層の強化
- 4 責任の明確化及び関係者の厳正な処分

を行ってまいります。

さらに、今回の修補にあたっては、より厳正な検査を実施するため社内検査専門部署による検査のほか、第三者である社外のコンサルタントに工程内検査を依頼し、対応することで万全を期したいと存じます。

皆様に多大なるご迷惑をおかけしましたことを衷心よりお詫び申し上げますとともに、二度と再びこのようなことを起こさないことをお誓い申し上げますので、今後とも何卒ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。了

平成20年6月25日
株式会社ピーエス三菱
取締役社長 延増 喬史